

2009年度
第1四半期決算
Conference Call

2009年8月7日
日本新薬株式会社



業績の状況（連結）

(百万円)

	2008年度		2009年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	17,739	100.0%	15,782	100.0%	△ 1,957	△11.0%
営業利益	4,016	22.6%	2,123	13.5%	△ 1,893	△47.1%
経常利益	4,508	25.4%	2,248	14.2%	△ 2,260	△50.1%
当期純利益	2,923	16.5%	1,474	9.3%	△ 1,449	△49.6%

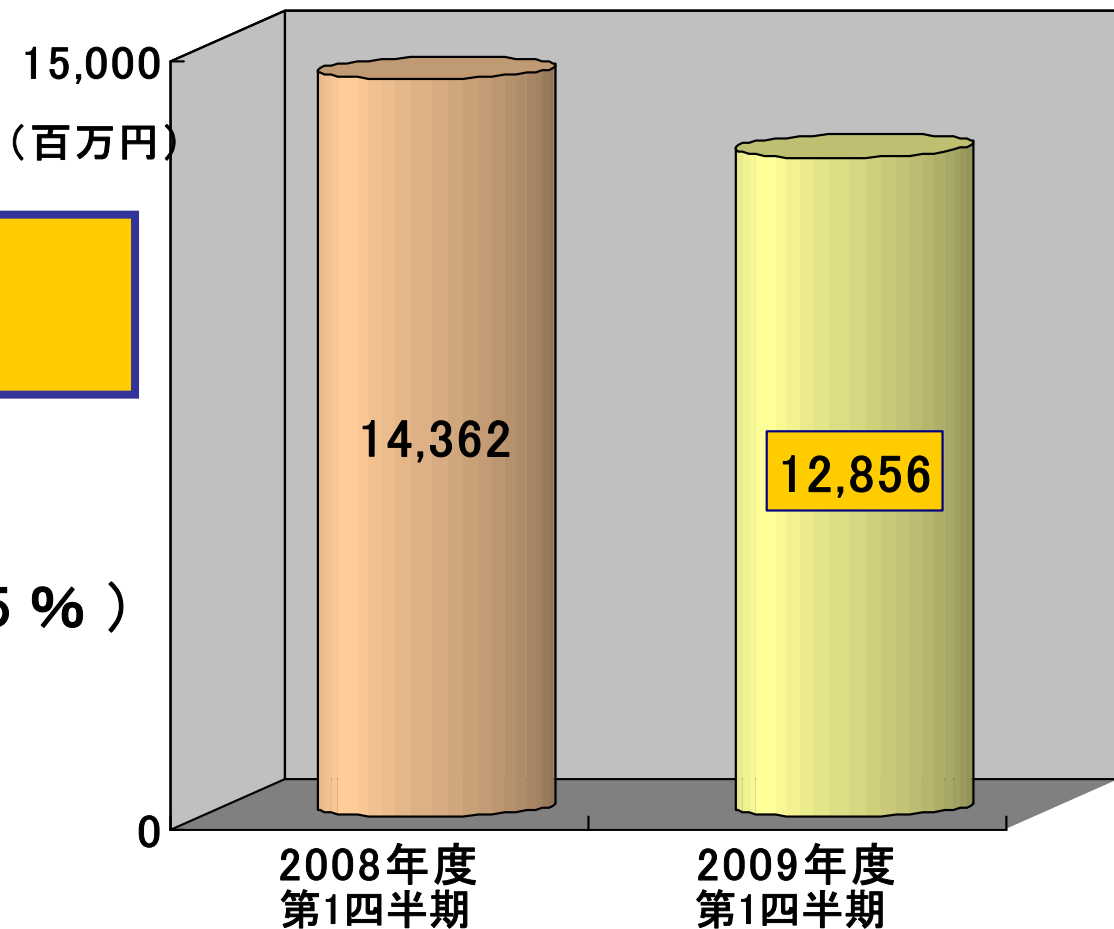


部門別業績推移 医薬品

実績 12,856百万円

対前年同期比

△ 1,506百万円 (△ 10.5%)





医薬品売上の内訳

(百万円)

	2008年度		2009年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	11,492	80.0%	12,249	95.3%	758	6.6%
工業所有権等収益	2,451	17.1%	17	0.1%	△ 2,435	△ 99.3%
フルリフロキサシン原薬	394	2.7%	526	4.1%	132	33.4%
受託製造	25	0.2%	64	0.5%	39	156.0%
医薬品合計	14,362	100.0%	12,856	100.0%	△ 1,506	△ 10.5%

- ・エビプロスタット(24. 3% up)
(前立腺肥大症治療剤)
- ・アズノールうがい液(19. 2% up)
(アズレン含嗽液)
- ・ガスロンN(7. 1% up)
(粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤)

等の伸長

- ・セレクトール(5. 4% down)
(血管拡張性 β_1 遮断薬)
- ・キロサイド(3. 9% down)
(代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤)
- ・エストラサイト(2. 2% down)
(前立腺癌治療剤)

等の減少

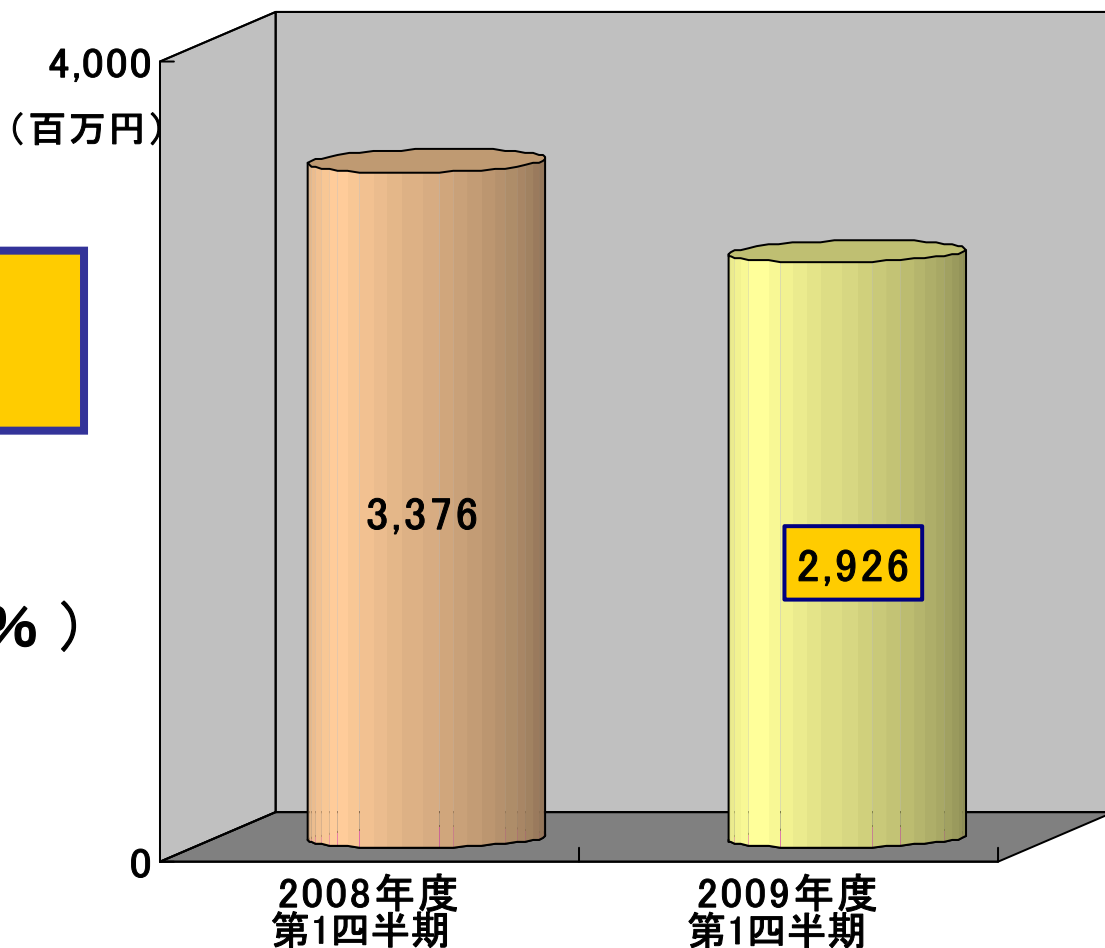


部門別業績推移 機能食品

実績 2,926百万円

対前年同期比

△ 450百万円(△ 13.3 %)





機能食品売上の内訳

(百万円)

	2008年度		2009年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績	対前年同期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
健康食品素材	117	3.5%	118	4.0%	1	0.9%
品質安定保存剤	355	10.5%	341	11.7%	△ 14	△ 3.9%
たん白製剤	1,970	58.4%	1,510	51.6%	△ 460	△ 23.4%
ニュートリション素材	526	15.6%	547	18.7%	21	4.0%
その他	408	12.1%	410	14.0%	2	0.5%
機能食品合計	3,376	100.0%	2,926	100.0%	△ 450	△ 13.3%

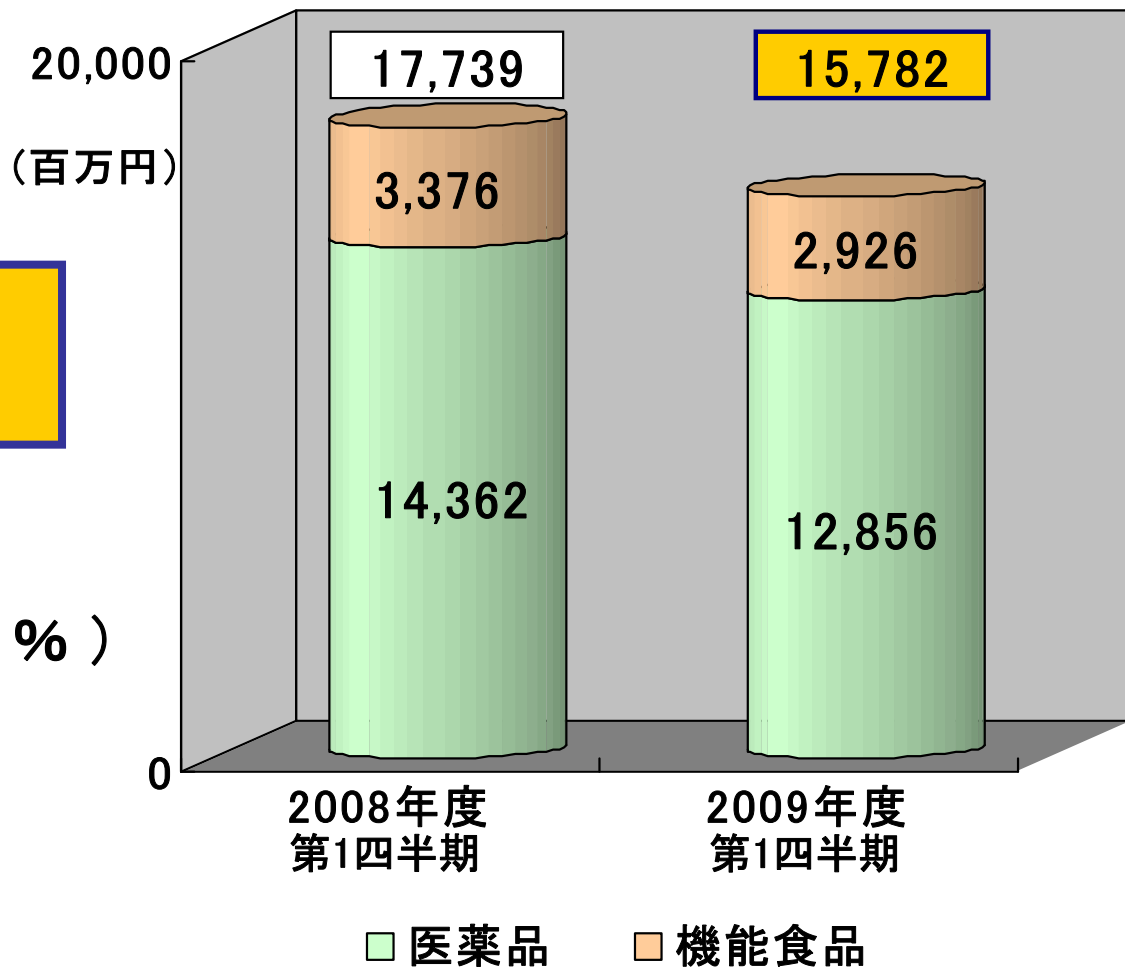


業績推移(連結)売上高

実績 15,782百万円

対前年同期比

△ 1,957百万円(△ 11.0%)





損益計算書（連結）①

(百万円)

	2008年度		2009年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	17,739	100.0%	15,782	100.0%	△ 1,957	△11.0%
(医薬品)	(14,362)	(81.0%)	(12,856)	(81.5%)	(△ 1,506)	(△10.5%)
(機能食品)	(3,376)	(19.0%)	(2,926)	(18.5%)	(△ 450)	(△13.3%)
営業費用	13,723	77.4%	13,659	86.5%	△ 64	△0.5%
売上原価	7,378	41.6%	7,253	46.0%	△ 125	
返品調整引当金	繰入 32	0.2%	戻入 17	△0.1%	△ 49	
販売費及び一般管理費	4,490	25.3%	4,613	29.2%	123	
研究開発費	1,822	10.3%	1,809	11.5%	△ 13	
営業利益	4,016	22.6%	2,123	13.5%	△ 1,893	△47.1%

営業利益：工業所有権等収益の減少による減収により減益



損益計算書（連結）②

(百万円)

	2008年度		2009年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	4,016	22.6%	2,123	13.5%	△ 1,893	△47.1%
営業外収益	595	3.4%	264	1.7%	△ 331	△55.6%
営業外費用	103	0.6%	139	0.9%	36	34.7%
経常利益	4,508	25.4%	2,248	14.2%	△ 2,260	△50.1%
当期純利益	2,923	16.5%	1,474	9.3%	△ 1,449	△49.6%

経常利益・当期純利益：営業利益、営業外収益の減少により減益



財政状況（連結）

(百万円)

	2008年度	2009年度			2008年度	2009年度	
	期末実績	第1四半期実績	増減		期末実績	第1四半期実績	増減
資産の部	98,286	103,176	4,890	負債の部	21,942	24,637	2,695
（流動資産）	57,578	58,199	621	（流動負債）	13,522	15,496	1,974
（固定資産）	40,708	44,977	4,269	（固定負債）	8,420	9,141	721
				純資産の部	76,344	78,539	2,195
合計	98,286	103,176	4,890	合計	98,286	103,176	4,890

(増加)

資産の部 : 有価証券、長期前払費用
 負債の部 : 賞与引当金、繰延税金負債
 純資産の部 : 株主資本、評価・換算差額等

(減少)

現金及び預金
 未払金



キャッシュ・フローの状況（連結）

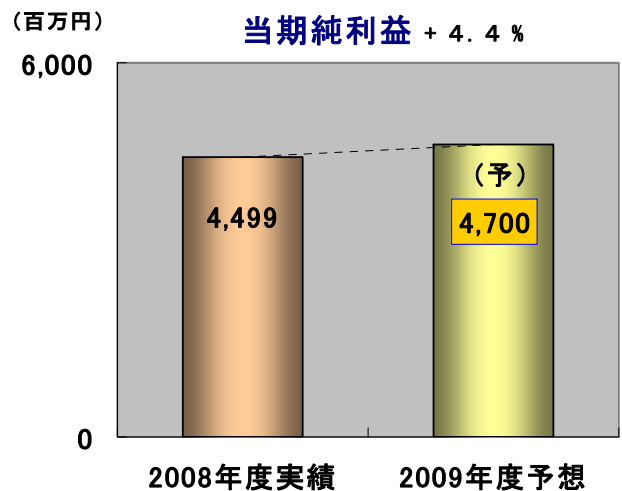
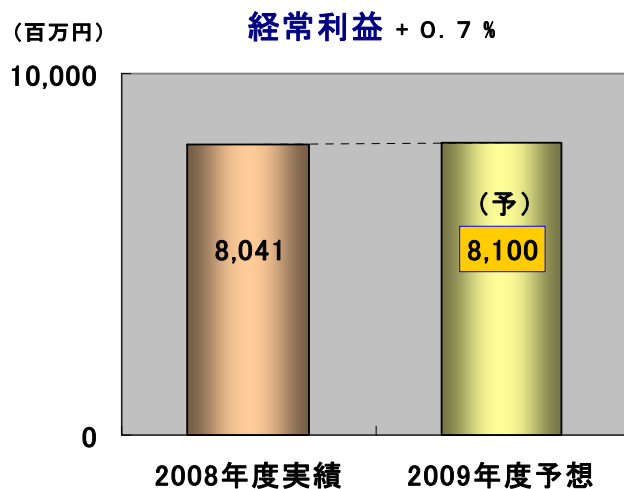
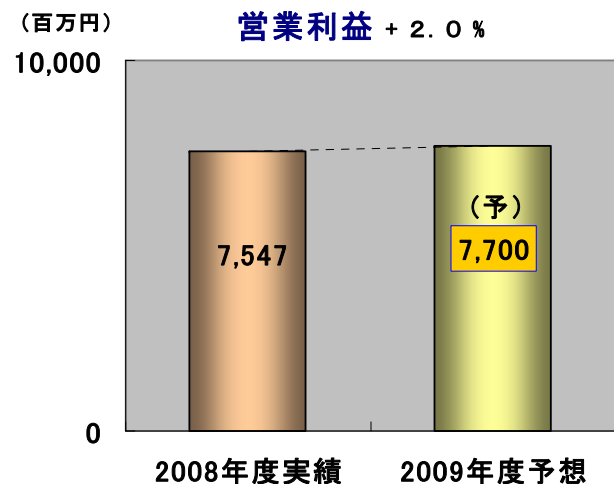
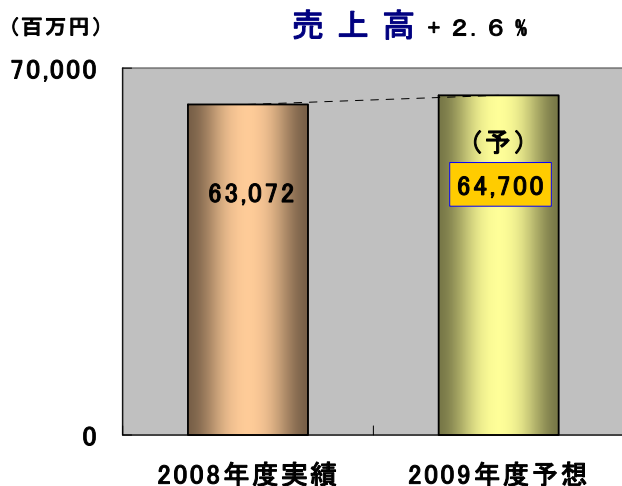
(百万円)

	2008年度	2009年度	2008年度
	第1四半期 実績	第1四半期 実績	実績
営業活動による キャッシュ・フロー	2,825	3,211	6,370
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,144	△ 3,072	△ 3,565
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 844	△ 578	△ 2,300
現金及び同等物の 期末残高	16,297	14,944	15,446

現金及び同等物の期末残高：長期前払費用の取得による支出の増加により減少



通期業績予想 (連結)



研究開発品目の進捗状況



新製品開発状況(国内)①

開発品目	申請区分	適応症等		開発段階	2007	2008	2009	2010年度
NS-126 (デキサメタゾン シペシル酸エステル) (導入)	新成分	吸入 ステロイド剤	鼻炎	申請中			承認予定 ●	
			喘息	P II	→			
NS-315 (トラマドール塩酸塩) (導入)	新投与経路	非麻薬性 鎮痛剤	がん性疼痛	申請中	→ 申請			● 承認予定
	新効能		慢性 非がん性疼痛	P II			P II →	
LY450190 (タダラフィル) (導入)	新効能	PDE5 阻害剤	肺動脈性 肺高血圧症	申請中	日本イーライリリー → 申請			
			前立腺肥大症 に伴う排尿障害	P III			P III	日本イーライリリー →
NS-11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P III	→ P III		→	



新製品開発状況(国内)②

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2007	2008	2009	2010年度
NS-17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髓異形成症候群	P II		P II	申請予定	
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	P II 準備中			P II 予定	
NST-141 (自社)	新成分	アトピー性皮膚炎 に伴うそう痒	P I			P I	



新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2007	2008	2009	2010年度
NM441 (フルリフロキサシ) (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売 準備中	柳韓洋行社 ● 承認			
			US PⅢ	Optimer社 →		申請予定	
			中国 PⅢ 準備中		Lee's Pharma社		→
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	US/EU PⅢ 準備中	PⅡ →	Actelion社	PⅢ 予定	→
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU PⅡ 準備中	CytRx社 → PⅠ			



NS-126 (デキサメタゾンシペシル酸エステル) — 吸入ステロイド剤 —

開発段階 : 鼻炎:2006/12 申請
喘息: P II a試験 終了

開発形態 : 自社

成分 : 新規合成副腎皮質ステロイド

適応症 : アレルギー性鼻炎、気管支喘息

特徴 : 粉末製剤
1日1回噴霧

提携 : ユ・ヨン社(韓国)へ導出:2008/06



NS-315 (トラマドール塩酸塩)

— 非麻薬性鎮痛剤 —

開発段階 : がん性疼痛 : 2008/07申請
慢性非がん性疼痛 : P II 試験

開発形態 : グリュンター社(ドイツ)から導入
(世界の約100カ国で発売済み)

用法 : 4回/日

特徴 : 弱オピオイド

NSAIDs < トラマドール < モルヒネ



NS-17 (アザシチジン)

— 骨髄異形成症候群治療剤 —

開発段階: P II 試験 オーフアン指定: 2008/11

開発形態: セルジーン社(米国)より導入

米国 2004/07 発売

欧州 2008/12 承認

適応症: 骨髄異形成症候群(MDS)

成分: アザシチジン

剤型: 凍結乾燥粉末/バイアル

(用時溶解、皮下・静脈内注射)

特徴:

- DNA脱メチル化作用による正常な細胞分化誘導

- MDS治療の第一選択薬(米国)



NS-304

— 肺高血圧症治療剤 —

開発段階: 欧州 (EMEA) オーフアン指定: 2005/08

PⅢ試験 (欧米) 準備中

PⅡ試験 (国内) 準備中

開発形態: 2008/04 アクテリオン社 (スイス) へ
導出 (日本を除く全世界)

国内はアクテリオン・ジャパンと
共同開発・販売

適 応 症: 肺高血圧症

作用機序: 選択的PGI₂アゴニスト

剤 型: 錠剤

特 徴: 長時間作用型経口剤

将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、マネージドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。